

日本製の頭蓋形状矯正療法ヘルメット

2019年5月に医療機器として承認を受けています。(ジャパン・メディカル・カンパニーが製造販売)

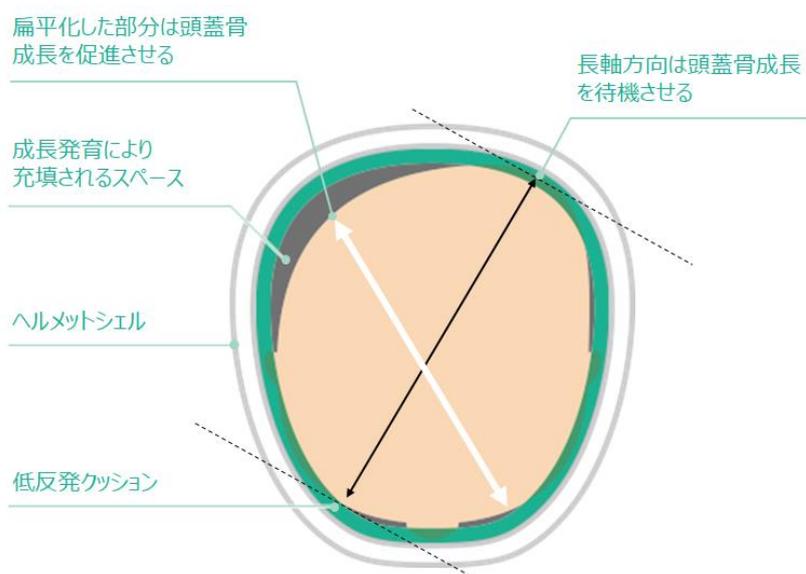


ヘルメットシェル及び低反発クッションで赤ちゃんの頭の形を矯正します

頭蓋骨に陽圧圧迫を加えず、ヘルメットシェル及び低反発クッションにより、長軸方向の成長を待機させ、扁平化した部分の頭蓋骨成長を促進させます。

これにより、頭囲拡大を抑制することなく、頭蓋骨変形を矯正することができます。

また、ヘルメットシェルは、個々の患者に適合するように設計されており、3D プリント技術を用いて製造されています。



設計においては細部まで米国製ヘルメットの取り扱いを 2007 年より行ってきた脳神経外科医がたずさわっております。

治療の流れ

1. ヘルメット治療の適応有無を判断します。
↓
2. 適応の場合、3D スキャナーで現在の頭の形を計測します。
↓
3. 計測したデータを元に最終的な頭の形を想定したオーダーメイドのヘルメットを作成します。
↓
4. 初診から 2 週間後、ヘルメット装着開始。約 2～4 週間ごとに診察を行い、低反発クッションの調整を行います。
↓
5. 1 日の装着時間の目標は、23 時間です。しかし、矯正初日から長時間かぶせるのではなく、2 週間程度をかけて徐々に時間を長くしていきます。（例、1 日目：4 時間、2 日目：5 時間、5 日目：12 時間）矯正効果が特に期待できるのは、お子さまの就寝時（頭を地面に付けている）です。期間としては、半年～1 年間程度の装着となります。（個人によって期間が異なります）。

<https://japanmedicalcompany.co.jp/aimet/>